

会報

編集：協議会事務局



設立総会議事進行風景（白石議長）

設立総会開催される

京都における情報サービス業の振興とレベルアップをめぐり、14社が結束、「京都情報サービス産業協議会」として設立総会を開催、新たな一歩を踏み出した。

設立総会

京都情報サービス産業協議会の設立総会は、平成5年11月15日（月）、午前10時半より平安会館平安の間において開催され

た。会員14社25名が出席、オブザーバーとして京都府商工部工業課小谷課長、中小企業総合センター経営課藤井課長、田中係長が出席された。

まず総会議事に先立ち、協議会設立に至る経過について(株)信システムサービスの新宮専務より説明が行われた後、総会議事に入った。議長には総会に至る経過をふまえてワーキンググループを代表して京都電子計算(株)代表取締役社長白石雪翁氏が選出され、以降白石氏が議長席につき総会の進行が行われた。

第一号議案は協議会規約について(株)ケーシー情報システムの西田常務より規約原案及び関連事項の説明があり、採決の結果、原案通り承認された。

設立総会次第

- 経過報告
- 総会
- 一、開会の辞
- 一、議長選出
- 一、議案審議
- 一、議案審議 協議会規約
- 一、議案審議 役員選任
- 一、役員選任挨拶
- 一、閉会の辞
- (休憩)

式次第

- 池田 達夫（ワールドビジネスセンター(株)取締役京都営業所長）
- 田中 義則（日本コンピュータファシリテイ(株)代表取締役社長）
- 西田 公恒（(株)ケーシー情報システム常務取締役）
- 植田 弘毅（京都電子計算(株)常務取締役）
- 新宮乃武彦（(株)京信システムサービス専務取締役）
- 奥村 良三（オムロンソフトウェア(株)経理部長）
- 清水 正直（(株)日新システムズ代表取締役社長）
- ◎役員
- ◎幹事
- 白石 雪翁（京都電子計算(株)代表取締役社長）
- 【副会長】
- 水野 勝治（(株)ケーシー情報システム代表取締役社長）
- 小島彌太郎（(株)京信システムサービス代表取締役社長）
- 【監事】
- 清水 正直（(株)日新システムズ代表取締役社長）

会員ニュース

株式会社ケーシー情報システムが新社屋に移転



新社屋



株式会社ケーシー情報システムは平成5年12月6日よりかねてから建設を進められていた新社屋に移転され営業を開始されました。新社屋は千本今出川交差点を少し南、千本通に面した8階建て、移転を機にメインコンピュータも富士通機M1六〇〇モデル6に更新されました。12月の各週の土日を利用して部門ごとに順次移転が行われた模様で、平成6年はまさに気分を一新してさらなる社業発展に取り組まれるとのことです。

《編集後記》

昨年11月の協議会発足後、初めて新しい年を迎えた訳ですが、今年も厳しい年になりそうです。活動計画の承認を得てということでも少し遅くなりましたが、「会報第一号」をお届けいたします。会報編集という慣れない作業で満足な出来は

えではありませんが、将来この協議会が大きく発展した暁には、この第一号の会報も貴重な資料となる事を念願して編集いたしました。これからは会員の皆様のご意見やご投稿等のご支援をいただきながら徐々に内容も充実していきたいと思っておりますので何卒よろしくお願いいたします。

京都情報サービス産業協議会 会員会社一覧

(敬称略 50音順)

会社名	本社住所	代表者氏名	電話番号
(株)アクシス	〒612 京都市伏見区中嶋端町1-1 ルシアン京都ビル	代表取締役社長 千田 哲朗	075-623-3771
オムロンソフトウェア(株)	〒604 京都市中京区烏丸通蛸薬師下ル手洗水町 670番地	代表取締役社長 田畑 陽介	075-223-0631
(株)京信システムサービス	〒602 京都市上京区千本通上長者町下ル草堂前之 町104	代表取締役社長 小島彌太郎	075-221-0231
京都電子計算(株)	〒604 京都市中京区烏丸二条上ル蒔絵屋町260番地	代表取締役社長 白石 雪翁	075-222-0333
(株)近畿リサーチセンター	〒604 京都市中京区烏丸夷川上ル少将井	代表取締役社長 小谷 隆一	075-211-2256
けいしんシステムリサーチ(株)	〒600 京都市下京区五条通堀川西入る柿本町579 番地五条堀川ビル	代表取締役社長 田附 昭二	075-341-1555
(株)ケーケーシー情報システム	〒602 京都市上京区千本通元誓願寺上ル南辻町 369-3	代表取締役社長 水野 勝治	075-465-6700
島津エス・ディー(株)	〒604 京都市中京区西ノ京三条坊町2-11	代表取締役社長 岡 正太郎	075-841-9112
(株)スリーエース	〒600 京都市下京区綾小路通室町西入ル マスキビル5階	代表取締役社長 井上太市郎	075-341-5263
(株)総合システムサービス	〒600 京都市下京区烏丸仏光寺下ル 榮泉烏丸ビル	代表取締役社長 古川 峰生	075-344-1122
(株)日新システムズ	〒600 京都市下京区堀川通綾小路下ル綾堀川町 293-1 住友生命四條堀川ビル	代表取締役社長 清水 正直	075-344-7880
日本コンピューター ファシリテイ(株)	〒600 京都市下京区烏丸仏光寺上ル 烏丸第一生命ビル8階	代表取締役社長 田中 義則	075-351-1881
(株)ユニシス	〒604 京都市中京区烏丸通三条下ル 大同生命ビル6階	代表取締役社長 藤岡 治清	075-255-6262
ワールドビジネスセンター(株)	〒601 京都市南区西九条東御幸田25-2	代表取締役社長 柳田 稔	075-662-1200

設立を祝って

設立総会の終了後、休憩を皆さんで引き続き祝宴が開催された。ご来賓として、京都府商工部工業課小谷課長、手塚主幹、京都市経済局産業振興課不室課長、廣田課長補佐、京都府中小企業総合センター経営課藤井課長、田中係長が出席された。

日本コンピュータファシリテイ(株)田中社長の司会にて、白石会長の挨拶、ご来賓として京都府小谷課長、京都市不室課長のご祝辞、府中小企業総合センター藤井課長による乾杯に始まり、各会員の自己紹介などが和やかな雰囲気の中に進められ全員で協議会の発足を祝った。

白石会長挨拶

一言ご挨拶申し上げます。先程の設立総会で会長に選任されました白石でございます。本日は大変お忙しいところをご出席をいただきましてご来賓の皆様には厚く御礼を申し上げます。本日は思いを同じくする14社がここに「京都情報サービス産業協議会」を発足いたしました。これも会員各社の熱意の賜物であり、併せてご来賓の皆様のご指導ご支援のおかげでございます。この協議会の発足を心から

お祝いしたいと思っております。ところで我々の業界もいまだに回復のきざしが見えません。長引いております不況そして技術革新が同時並行的に進むという非常に厳しい状況であります。情報産業におきましてもここ二十数年来で初めて経験する大きな試練ではないかと思っております。業界はやはり構造改革に迫られていく事だと思っておりますが、この時期にこの情報サービス業が結束して協議会を発足させました事の意義は大変大きなものがあります。我々のこれからの課題としましては、やはり会員相互のさらなる交流と協議会としての基盤を確立していかなければなりません。この為には会員相互の努力と併せてご来賓各位のいろいろな面でのご支援をお願いしなければならぬと思っております。その事によりまして、我々は地域社会の発展に貢献していく、その様な気持ちで使命感を持って努力をしてまいらなければならぬと思っております。今回、私が会長に選任をされましたけれども大変大きな責任を痛感しております。微力ではございますが最大限の努力をしていきたいと思っております。先程も申し上げましたけれども役員の皆様方、会員の皆様方のご協力と、そし

てご来賓各位のあたたかいご支援を心からお願ひ申し上げます。終わりになりますが、本日の設立総会開催にあたりまして、これまで大変なご尽力をいただきました各位に深く感謝を申し上げます。皆様の今後のご健闘とご繁栄を祈念して一言ご挨拶とさせていただきます。有り難うございました。

京都府商工部工業課長

小谷泰久氏ご挨拶

ただいまご紹介いただきました京都府商工部工業課長の小谷でございます。まずは先程「京都情報サービス産業協議会」が設立され、ここにこの様に盛大に祝宴が開催されました事を心からお慶びを申し上げます。私にはこの協議会の設立にあたりましては最初から関わっておりません。私事で申し訳ありませんが、私は昨年の四月一日に通産省からの出向という形で現在の工業課長を拝命した人間でございます。私は赴任するまで、京都は情報産業が多い所だと思っておりました。何故かと言いますと京都は「任天堂」のイメージが強くゲームソフトなどのソフトウェアが盛んな所だと思っております。しかしながら、着任早々だったと思っておりますが、



小谷泰久氏ご挨拶

今日も経過報告をされておりました新宮さんが府庁に連れられて、「京都には未だ情報関係の団体というものが全く無く何とか業界団体を作りたい」という事をお聞きしまして、これは是非お手伝いしなければと思った訳でございます。もう一つこれも私事でございますが、私は情報工学の出身でございます。通産省でも機械情報関係の課にも在籍していたものですので、こういう協議会を作るのは良い事だと思っていたわけでございます。ところが一年数ヶ月たっても全く音沙汰がございません。これは立ち消えになったかと思っております。この夏にやはり作りますという話があり、今日の総会を迎えられた訳で、まことにおめでとございます。

話は変わりますが、経済の状況は先程会長の方からお話がありました様に非常に厳しく、京都府といたしましては、六月補正、九月補正と対策をうってまいりました。現在、来年度の予算折衝を財政課当局と行っております。その中で、「従来、地方行政は税金を使う仕事を重点的に行ってきた。これからは税金が入ってくる様な施策をどんどん行っていくかなければならないだろう」とを合言葉にいたしまして、いかに京都の産業を育成するかどうかという事についての議論を戦わせ、それを実行する為の予算を獲得していくこととしている訳でございます。厳しい状況ではありますけれどもご期待をいただきます。協議会ができましたから

(3面へつづく)

にはどんどん行政に対して注文をつけていただきたいと思っております。かねがね私は「役人というものは、規則に縛られて行政事務をえらそうにやっていることが仕事ではない。産業界の人に対する行政のコンサルタントになるのが役人である」と思っております。工業課の敷居は決して高くはありませんので何かありましたらどんどんと御相談をいただきたいと思っております。最後にあたりまして本日ご列席の皆様方の御健勝を祈念いたしまして私のご挨拶に変えてさせていただきます。本日はおめでとうございます。

京都市経済局産業振興課長

不室嘉和氏ご挨拶

「京都情報サービス産業協議会」の発足を心からお喜び申し上げます。ご紹介をいただきました京都市経済局産業振興課の不室と申します。よろしくお願ひ申し上げます。ただいま会長様の方からも経過を含めて今後どうしていくかというお話もございました。私共もこの情報サービス産業について極めて関心を持っておりました。と申しますのは、昭和50年台の初めに学識経験者、産業界、行政で、今後の京都の産業界が近代産業を



不室嘉和氏ご挨拶

この技術革新と情報化を迎えていく時代にどうあるべきかというところで、研究会を組織いたしました。その中から生まれたのが「京都産業情報センター」で

ございます。これは全国のそういう地域のセンターが出来ていくのの先駆けまして、府のご協力も得ながら出発をしたわけです。この情報化に向けての取組の中から、現在リサーチパークにございます「京都高度技術研究所」が、ソフトウェアあるいはメカトロニクス技術の研究開発拠点として発足いたしました。さらにはこの情報化の時代の流れの中で、より高度のSEを養成していくという国の法律ができ、それに基づく「京都ソフトウェアアプリケーション」という上級SEを養成をする会社もス

タートいたしました。そういう形で、行政としてもこの技術革新と情報化の進む状況を見ながらいろいろ取組を進めてまいりました訳であります。京都の業界は大半が中小零細企業ということで、その情報化に向けての私どもの誘い水と申しますか、そういうものが未だ未だ浸透していかない状態かなとも思っております。さらには、この中にも会員の皆様がおられますけれども、私どもの呼び掛けで結成されました「京都市ベンチャービジネスクラブ」の中から、昨年九月ソフトウェアについての研究活動をしていこうということ

で「ソフトウェア産業部会」が出来ました。その後のいろいろな活動の中で、府のご支援ご協力を得ながら協同組合化をしていくという様な取組を進めておられます。これもやはり業界が今日の状況を見ながらいかに自主的に自らの力を発揮していくか、その為の作業を展開されているというところで本心に敬意を表している処でございます。ご案内の様に昨今の状況は厳しくございますけれども、これからの高度情報社会に向かつていく過程でありますし、京都市といたしましては、昨年策定いたしました「新京都市基本計画」の中に交通通信のネットワークを始めとして、新しい時代

や経済社会に対応できるまちづくりをしていこうという意味の方針も打ち出しております。そういう取組を業界の皆様方と一緒にやっていきたいと思います。本日もお集まりになりました皆様方には、そういう意味でこれからも行政と一緒に考えていただき、又特にこの協議会は、京都では初めての、情報を交換していく、あるいは親睦を深めていく、それも高い視点から公共的に見ていこう、という協議会ではないかと思っております。今後のご活躍を期待したいと思っております。私ども京都市といたしましてでもそういう意味で、皆様方のお取組に対する支援を何らかの形でさせていただきますと思っております。



藤井課長による乾杯

最後にになりましたが、本日の設立総会の為にいろいろご尽力されました企業の皆様方、又本日ご参加の皆様方の今後の活躍を祈念いたしまして簡単粗辞ではございますが一言京都市としてのお祝いのことは替えさせていただきます。本日は本当におめでとうございます。

今後の活動計画について

設立総会をもって協議会としての活動が開始された訳ですが、役員・幹事にて活動計画が検討されています。

(12月8日) 幹事会議
(12月16日) 役員幹事合同会議
この両会議にて今後の活動計画が協議されました。

主な内容は

- ・ 行役機関との情報交換等について
- ・ 会報発行の件
- ・ 会員名簿発行の件
- ・ 今後の総会日程の件
- ・ 平成6年度活動計画の件
- ・ 上部団体加入の件
- ・ 会員各社の意向調査の件などです。今後会員各社の皆様のご意向、ご意見を拝聴し、また行政機関のアドバイスも受けながら具体的な事業計画を立てていく予定です。皆様のご協力